

JR東海労なごや

2010年1月7日 No. 793
JR東海労名古屋地方本部
発行者：丹羽成生
編集者：堀部肇

名松線廃止反対シリーズ 4

今頃、説明会！？ 廃止ありきのアリバイづくり

地元住民からは不満の声が相次ぐ

JR東海初めて地元説明会開く

台風18号による被害で、不通が続いている名松線・家城～伊勢奥津駅間のバスへの切り替えをJR東海は、12月19日、津市・美杉総合開発センターで、はじめて地元住民への説明を行いました。

JR東海の中村満・東海鉄道事業本部長は「このままで安全で安定した鉄道輸送は不可能」と説明しました。



H21.12.20中日新聞

廃止発表後の説明に住民からは不満の声

歴史街道推進協議会.HPより



説明会で住民からは「廃止発表前に相談もなく、廃止ありきの説明会ではないのか。」「なぜバス運行の方が安全なのか。」「弱者を切り捨てないで。」など不満の声が相次ぎました。

交通弱者を切り捨て、台風被害を口実に赤字路線を廃止したい会社説明の本音を、見透かしたように、本当に鉄道を必要としている地元住民は、納得がいかないと話し合いは平行線をたどりました。

JR東海の簡単に弱い者を切り捨てる姿勢に、私達も反対します。